

㈱五藤光学研究所

取締役社長  
五藤 信隆

## プラネタリウムをはじめとする ドーム空間を構築する総合メーカー

住所：〒183-8530 府中市矢崎町4-16

TEL：042-362-5311

FAX：042-361-9571

資本金：5,000万円

従業員数：150名

URL：<http://www.goto.co.jp/>

企業窓口 E-Mail：[info@goto.co.jp](mailto:info@goto.co.jp)

### わが社の特徴

常に最先端であり続けるために、技術要素を日々研究し、創意工夫をモットーにドーム空間の可能性を追求しています。また、プラネタリウムの総合プロデュースに取り組み、施設の企画・立案から機器開発・製造・納入、維持管理、運営サポート、番組制作までの一連業務をすべて自社で行っています。

### 主要製品又は技術

プラネタリウム（大型・中型・小型・学校用）、全天周デジタル映像システム、大型望遠鏡、ドームスクリーン、プラネタリウム番組、デジタル映像コンテンツ 他

### わが社の得意とする製品・技術

#### ■ ハイブリッド・プラネタリウム

美しい星空を投映する光学式投映機と、恒星の固有運動や宇宙飛行、迫力ある映像などを表現する全天周デジタル映像システムが渾然一体となって融合し、体系化された、五藤光学研究所の新世代のプラネタリウムシステムです。現在では、世界で初めて肉眼で見ることの出来る約9,500個の恒星すべてに固有の色を付加し、星の明るさだけでなく色彩までも再現した「ケイロンⅢ」や、小規模の傾斜ドームにも対応した「パンドラⅡ」を開発。また、欧州に初めて「クロノスⅡ」をハイブリッド・プラネタリウムとして納入するなど、海外にも数多くの実績を有しています。



#### ■ 大型望遠鏡

1923年、天体望遠鏡メーカーとして創業以来、より遥か遠くの宇宙を伝えるため、大型望遠鏡を開発・製造しています。光学設計、レンズ研磨は「ものづくり」で培った長年の技術力で優れた品質を生みだしています。

#### ■ ドーム映像（展示・博覧会映像）

1970年の大阪万博で世界初の全天周映像を実現以降、ドーム映像にとどまらず、特殊な形状のスクリーンや高解像度が求められる特殊な映像空間を手がけています。ドームスクリーンに映像を継ぎ目なく投映する映像技術と40年以上にわたる展示・博覧会映像のノウハウの蓄積は、様々なプロジェクトにも対応が可能です。